

第 18 回

長野県褥瘡懇話会

プログラム

会期：2022年11月23日（祭）オンライン配信

2022年12月1日～31日オンデマンド配信

会長：松本美和 信州上田医療センター

皮膚・排泄ケア認定看護師

共催 長野県医師会

長野県看護協会

タイムテーブル

- 13:00 開会挨拶
第18回長野県褥瘡懇話会大会長
信州上田医療センター 皮膚排泄ケア認定看護師
松本 美和
- 13:10 特別講演 「褥瘡保有者への栄養支援のヒント」
人間総合科学大学 人間科学部 心身健康科学科
渡邊 成 先生
司会:諏訪赤十字病院 副院長・形成外科部長 久島英雄
- 14:15 総会
- 14:40 一般演題 発表
座長 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター豊殿診療所 理学療法士
古田大樹
長野県立木曽病院 皮膚排泄ケア認定看護師 仲澤幸恵
- 1, 褥創対策リンスナース活動報告 諏訪赤十字病院 8階東病棟 藤田沙織
2, 慢性・難治性創傷を保有する患者を支える地域における
多職種連携の在り方について
信州上田医療センター 看護部 高橋ゆかり
3, コロナ病棟における褥瘡対策の現状と課題 諏訪赤十字病院 看護部 宿澤隆裕
4, 褥瘡患者に対する栄養介入効果の検証
国立病院機構 信州上田医療センター 栄養科 清水博之
5, 褥瘡予防と栄養 ～院内研修での試み～
地方独立行政法人 長野市民病院 看護部 須野原祐一
- 16:00 教育講演 「DESIGN—R2020の活用方法/コロナ禍での褥瘡対策」
諏訪赤十字病院 副院長 形成外科部長
久島 英雄 先生
司会:信州上田医療センター 松本美和
- 17:00 閉会挨拶

開催当日は11:00WEB 企業展示動画をご視聴いただけます。接続確認と共に各企業の製品紹介をご覧いただければと存じます。また、その後は HP 上のバナーからWEB 企業展示をご覧いただけます。褥瘡関連製品の情報、新製品情報収集にお使
いください。

特別講演 褥瘡保有者への栄養支援のヒント

人間総合科学大学 人間科学部 心身健康科学科 渡邊 成(しげる)

褥瘡の予防・治療において栄養状態が関与するが、臨床では適切に栄養支援が行われているとは言い難い状況も散見する。そこで今回は褥瘡保有者への栄養支援で留意すべき点を述べる。

基本的だが体重測定的重要性を再確認して欲しい。またアルブミン値が栄養状態の指標として注目されるが、半減期からは Rapid Turnover Protein を利用する方が良い。さらに、栄養状態と免疫力は相関することも知っておくと良い。

経口摂取が不十分な人に対して塩分制限や脂質制限をすべきかどうか再検討すべきことが少なくない。また、単に高齢だからという理由だけで嚥下食を適用していないだろうか。食欲不振には多数の要因があり、それに応じた対策が求められる。また、最近ではグレリンを利用することも考えられる。

長期間経管栄養を続けていると低 Na 血症になる可能性にも留意すべきである。経鼻栄養チューブを挿入して経口摂取を行うことは危険である。経静脈栄養は経腸栄養が不可能な場合だけを適応とし、点滴中には食事が進みにくい。その他、長期間絶食後の Refeeding Syndrome に注意することや、リハビリテーションに十分な栄養(カロリー)が必要であることも述べる。

略歴

昭和52年杏林大学医学部卒業 同第1外科研修医

公立昭和病院外科医長、目白第二病院外科部長、副院長を経て、

平成16年より川口市立医療センター内科部長・研修教育センター長

平成29年より人間総合科学大学 人間科学部 健康栄養学科 教授

令和3年4月より 非常勤講師

所属学会

日本褥瘡学会 功労会員

同学会用語集委員

日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会 特別会員

同学会講習会委員会 顧問

創クラブ スーパーバイザー

活動領域

病態栄養学、褥瘡・創傷管理、ストーマリハビリテーション、直腸がんの外科治療、プレゼンテーション技法

教育講演 DESIGN-R2020 の活用方法/コロナ禍での褥瘡対策

諏訪赤十字病院 副院長・形成外科部長 久島英雄

DESIGN は、2002 年に日本褥瘡学会により開発され発表された褥瘡の状態判定スケールです。評価項目は現在と同様に、深さ(D)・浸出液(E)・大きさ(S)・炎症/感染(I)・肉芽組織(G)・壊死組織(N)・ポケット(P)の7項目で構成されていました。当初は、すべての項目で 0, 1, 2, 3・・・と、軽い方から順番に点数が振られていましたが、S の1点とEの1点は同等の重症度を示していないため、2008年に重みづけがなされて、DESIGN-Rに進化しました。

今回の DESIGN-R2020 では、深さ(D)に「深部損傷褥瘡(DTI)疑い」と炎症/感染(I)に「臨界的定着疑い」という2つが追加されました。「深部損傷褥瘡(DTI)疑い」が加えられたことにより、急性期褥瘡の評価が容易になったと言えます。また、「臨界的定着」の概念が追加されたことにより、創傷管理に細菌数をコントロールする意識が高まり、より適切な治療戦略が選択されるようになることが期待できます。

講演では「深部損傷褥瘡(DTI)疑い」と「臨界的定着疑い」を中心に解説させていただき、DESIGN-R2020の点数のつけ方を供覧いたします。また、当院では重症コロナ患者を経験しましたので、伏臥位での呼吸管理における褥瘡予防について、当院で行った工夫についてお話します。

<現職>

諏訪赤十字病院 副院長 医療安全推進室長

<職歴・研究歴>

平成元年 信州大学医学部医学科卒業

平成元年 信州大学医学部附属病院 医員(研修医)

平成2年 国立長野病院 外科

平成5年 信州大学医学部附属病院 医員

平成6年 長野赤十字病院 形成外科

平成8年 信州大学医学部附属病院 医員

平成9年 信州大学医学部附属病院 形成外科助手

平成17年 信州大学医学部附属病院 形成外科講師

平成17年 諏訪赤十字病院 形成外科部長

平成26年 諏訪赤十字病院 病院長補佐医療安全推進室長兼第一形成外科部長

平成30年 諏訪赤十字病院 副院長 医療安全推進室長

<所属学会・役職名、社会における活動>

日本形成外科学会、日本頭蓋顎顔面外科学会、日本手の外科学会、

日本マイクロサージェリー学会、日本褥瘡学会(評議員)

日本褥瘡学会関東甲信越地方会(幹事・長野県支部長)

日本医療安全学会

長野県褥瘡懇話会(幹事)、長野県乳腺疾患懇話会(世話人)

一般演題

1.褥瘡発生対策に向けた取り組み

諏訪赤十字病院 看護部

○藤田沙織 野田知子

1. はじめに

所属病棟は脳神経内科・脳神経外科の混合病棟であり、日常生活に介助を要する患者様が多く入院されている。リンクナースとして看護の質の向上・病棟内の褥瘡発生数減少を目指しポジショニング・オムツの勉強会を実施した。

2. 実際

新型コロナウイルス感染症対策のため換気・3密の回避・標準予防策の徹底を行い安全に勉強会が最後まで開催されるように注意した。また、参加しやすいよう病棟内の空いているベッドを活用した。内容は①仰臥位②側臥位③G-up に分けて開催し、同時におむつの当て方の教材の配布・講習を行いオムツの正しい装着方法を指導した。病棟看護師全員が参加できるよう院内のメッセージツールを活用、朝礼で呼びかけた。

3. 結果

ポジショニングクッションの適切な使い方を伝えることができた。また正しいポジショニングの心地よさを体験してもらえた。前年度よりも病棟の褥瘡発生数は減少した。

4. 今後の課題

一人で抱え込まず、委員会メンバーやスタッフに協力を依頼する。

2. 慢性・難治性創傷を保有する患者を支える

地域における多職種連携の在り方について

信州上田医療センター 看護部 ○ 高橋ゆかり、深井泰世、永井智恵子
形成外科 成松 巖、矢野 志春、川口 玄

上小地域では、当院以外に形成外科常勤医が在籍する病院がない。そのため、他病院や介護施設、訪問看護ステーションから、慢性・難治性創傷を保有する患者が紹介される事が多い。しかし、受診時には普段、患者のケアを行っている病院・施設職員や介護者が同席されることが少ない。そのため、生活環境の確認や発生に至った原因を推測の中で検討するしかない状況となっている。また受診後の局所処置や除圧管理方法をどのようにフィードバックするのか、タイムリーな伝達が難しい症例も多いのが現状である。

当院で地域における多職種連携を必要とした事例を2症例提示する。

事例を振り返り、地域における多職種連携の在り方や今後の課題について検討してみる。

3. コロナ病棟における褥瘡対策の現状と課題

諏訪赤十字病院

看護部 宿澤 隆裕

私は現在呼吸器内科、泌尿器科混合病棟で勤務しながら褥瘡対策専任看護師を兼任している。

コロナ病棟における褥瘡対策の問題点として、接触の機会を減らす必要性があり、観察のタイミングが少なくなること、あらゆる物品の使用に制限がかけられることが挙げられる。患者の安全を守りつつ自身が感染しないように接触時間を減らす必要がある。近隣の施設でクラスターが発生すれば日常生活自立度の低い患者が入院してくる。全員に十分なエアマットレスや体交枕を使用することはできず、また皮膚が脆弱な高齢者では点滴ルートや弾性ストッキングでのMDRPU発生リスクも高くなる。物品は一度病室へ持ち込むとしばらく室外へ出すことができなくなるため、不必要に持ち込まないこと、使い捨てでも構わない物品の活用などの工夫が必要である。多忙なコロナ病棟で感染対策を講じた上で褥瘡対策を行うための課題としてはスタッフ間での情報共有、短時間で適切なケアを提案することが必要となる。

4. 褥瘡患者に対する栄養介入効果の検証

NHO 信州上田医療センター 栄養管理室¹⁾、看護部²⁾、消化器内科³⁾、形成外科⁴⁾
清水博之¹⁾、小林さゆり¹⁾、近山理歩子¹⁾、小川祐介¹⁾、
高橋ゆかり²⁾、松本美和²⁾、藤森尚之³⁾、森田進³⁾、成松巖⁴⁾

【背景】2022年10月より、当院NSTは褥瘡対策チームとの連携強化のために、全ての褥瘡患者へのNST介入を検討している。これまでのNST介入状況を振り返り、有効な栄養療法を検討したい。

【目的】褥瘡治療における総エネルギー消費量(TEE)の算出方法は、ハリス・ベネディクトの式から得られた基礎エネルギー消費量(BEE)に活動係数とストレス係数をかけて求められる。また、簡易法ではエネルギー投与量として30~35kcal/kg/日、蛋白質投与量としては1.2~1.5g/kg/日が推奨されている。これまでNSTが介入した褥瘡患者に対して、施した栄養療法が適正であったかを検証する。

【方法】2021年度にNSTで介入した褥瘡患者27名のエネルギー・蛋白質の必要量に対して、投与量及び摂取量の比較・検証を行う。

【結果】エネルギーについては、男女で投与量がTEEを上回った。摂取量は男性でTEEを上回ったが、女性でTEEを下回った。また蛋白質については、必要量に対して、男女で投与量、摂取量ともに上回った。

【考察】投与量については、エネルギー、蛋白質ともに男女で必要量を上回っており、適正であったと考える。摂取量については、蛋白質は男女で必要量を上回ったが、エネルギーは女性で必要量を満たせておらず、栄養療法のプランニングとモニタリングが不十分であったと考える。

【結語】褥瘡患者は各種栄養素の必要量が増大している。ADLが低下し経口からの摂取量が乏しい患者(特に高齢女性)に対しては、よりきめ細やかな栄養療法を心がける必要がある。

5. 褥瘡予防と栄養 ～院内研修での試み～

地方独立行政法人 長野市民病院 看護部
須野原祐一

誤嚥性肺炎などで入院となった患者さんは、病状が回復し経口摂取開始の指示が出ても、嚥下困難で経口摂取が難しい時がある。

また、座骨や尾骨といった、座位姿勢の際に圧迫される部位に褥瘡がある場合、疼痛により姿勢が崩れることで、さらに嚥下困難が進む。結果として低栄養が遷延し、褥瘡の治癒遅延をもたらす。

褥瘡予防・管理ガイドラインによると、褥瘡発生の要因には、個体要因と環境・ケア要因があり、どちらにも重なる要因として、外力・栄養・湿潤・自立の 4 項目がある。これらの項目に着目してケアを行うことで、褥瘡予防や治癒につながると考える。

外力コントロールとしてのポジショニングは、日々私たちが行っている基本的な看護ケアだが、経口摂取を促すポジショニングについてのポイントはあまり知られていないと感じる。

今年度、院内研修の高齢者看護研修で、褥瘡予防と食べるためのポジショニングといった内容で開催したため、その研修場面などをご紹介します。

庶務報告

1) 会員数(令和4年6月1日現在)

個人会員 116名

施設会員 85施設

協賛会員 23社 (退会:大王製紙、かふね)

(社名変更:甲信越エア・ウォーター(株)→

エア・ウォーター東日本(株))

2) 会議

令和3年7月28日 第1回世話人会 (ZOOM 会議)

令和4年4月12日 第2回世話人会 (ZOOM 会議)

令和3年度活動報告

1) ホームページリニューアル

制作会社に依頼し、リニューアル完了、令和4年5月23日に公開した。

2) 第17回長野県褥瘡懇話会

COVID-19感染拡大により中止とした。

3) その他各種セミナー

COVID-19感染拡大により在宅褥瘡セミナー、褥瘡セミナーは中止とした。

褥瘡セミナー WEB 配信版動画作成は感染拡大により今年度は活動できなかった。

会計報告

資料3		令和3年度長野県褥瘡懇話会決算書(案)					
						2022/11/6	
1. 収入の部						(単位:円)	
項目	概要	予算額	決算額	増減	摘要		
前年度繰越金		6,153,180	6,153,180	0			
会費収入	施設会員 83施設	0	30,000	30,000	令和2年度会費3施設		
	賛助会員 25社	0	60,000	60,000	令和2年度会費3社		
支部援助金		100,000	0	(100,000)			
雑収入	銀行利息等	40	49	9			
収入合計		6,253,220	6,243,229				
2. 支出の部						(単位:円)	
項目	概要	予算額	決算額	増減	摘要		
事務局費	事務諸経費	ホームページサーバー代	6,000	0	6,000	通信費に含まれる	
		印刷代	60,000	0	60,000		
		その他	34,000	12,671	21,329		
	通信費		100,000	66,796	33,204	ホームページサーバー代4,896	
	ホームページ管理料	1年間管理料	38,000	0	38,000		
		更新手数料4回	12,000	0	12,000		
	ZOOMウェビナー料	1年間契約	73,900	15,477	58,423	ZOOMミーティング変更	
	慶弔費		20,000	0	20,000		
人件費		0	55,105	-55,105	事務局員人件費		
研修会費	褥瘡セミナー	講師料	60,000	0	60,000	活動なし	
		交通費	25,000	0	25,000	活動なし	
		事務委託料	100,000	0	100,000	活動なし	
		事務費	100,000	0	100,000	活動なし	
		諸経費	15,000	0	15,000	活動なし	
	在宅褥瘡セミナー	準備金	200,000	0	200,000	6時間セミナー廃止	
予備費		2,000,000	0	2,000,000			
支出合計		2,843,900	150,049				
残金		3,409,320	6,093,180	(度繰越金)			
支出合計+残金合計		6,253,220	6,243,229				
総収入合計との差引残高		0	0				

令和3年度長野県褥瘡懇話会会計報告書

1. 収入の部				(単位:円)
会費収入	施設会員	令和2年未入	3社	60,000
	賛助会員	令和2年未入	3施設	30,000
	支部援助金			0
	利息			49
	前年度繰越金			6,153,180
合計				6,243,229
2. 支出の部				
通信費				66,796
Zoom 使用料金				15,477
文具・雑費				12,671
人件費 (含税)				55,105
合計				150,049

次年度繰越金 6,243,229 - 150,049

6,093,180

会計監査報告

令和3年度長野県褥瘡懇話会会計について預金通帳および関係する諸帳票を監査したところ、その処理・内容ともに相違なく正確であることを認めます。

令和4年6月17日

監事 林 宏一 (林)

令和4年6月21日

監事 若林あずさ (若林)

予算案

資料7	令和4年度長野県褥瘡懇話会予算書（案）				
			2022/11/6		
1. 収入の部				(単位:円)	
項目	概要	予算額	摘要		
前年度繰越金		6,093,180			
会費収入	施設会員 85施設	850,000	1施設10,000円		
	賛助会員 23社	460,000	1企業20,000円		
支部援助金		0			
収入合計		7,403,180			
2. 支出の部				(単位:円)	
項目	概要	予算額	摘要		
		998,197			
事務局費	事務諸経費	事務用品、印刷代	50,000		
		人件費	56,000		
	通信費		150,000		
	ホームページ管理料	1年間管理料	297,000	サーバー、更新作業代	
		制作料	409,750	ホームページ作成代	
	ZOOM年間契約料	1年間契約	15,447	ミーティング年間契約	
	慶弔費		20,000		
		1,290,000			
研修会費	褥瘡セミナー		300,000		
		講師料	60,000		
		交通費	25,000		
		事務委託料	100,000		
		事務費	100,000		
		諸経費	15,000		
	第18回長野県褥瘡懇話会		990,000		
		講師謝金（含交通費宿泊費）	200,000	1名分	
	WEB配信会場費	160,000	ホテル会議室賃貸料		
	Klar委託料	280,000			
	事務諸経費	150,000	会議費等		
	当日運営費	200,000	軽食代等		
予備費			2,000,000		
支出合計			4,288,197		
残金合計			3,114,983		
支出合計+残金合計			7,403,180		
総収入合計との差引残高			0		

長野県褥瘡懇話会 会則

第1章 総則

本会は長野県褥瘡懇話会(以下、本会)と称し、事務局を信州大学医学部形成再建外科学講座内(〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1)に置く。

第2章 目的および事業

1. 本会は、長野県における褥瘡や創傷管理に関する教育、研究、専門知識の増進普及を図り、併せて褥瘡の予防および医療の向上と充実に貢献することを目的とする。
2. 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
 - (1) 研究集会、講演会および講習会などの開催
 - (2) 他の地方会や国内外の関連学術団体との連絡および提携
 - (3) その他の必要な事項

第3章 会員

1. 本会の会員は次の通りとする。
 - (1) 正会員 医療および福祉事業に従事するもの及び褥瘡医療に関わる研究者
 - (2) 施設会員 本会の目的、事業に賛同して入会した医療・福祉施設の代表者
 - (3) 施設会員の施設に所属する職員は本会が主催する会に参加費のみで参加できる。
 - (4) 賛助会員 本会の目的、事業に賛助する個人および企業の代表者
2. 会員資格の喪失は次の各項に当たる場合とする。
 - (1) 退会
 - (2) 死亡
 - (3) 除名
 - (4) 2年間以上の会費未納者

第4章 役員

1. 本会には次の役員をおく。代表世話人1名、世話人若干名、事務局長1名、事務次長1名、会計1名、監事2名
 - (1) 代表世話人は本会の運営を司る
 - (2) 事務局長および事務次長は本会の運営に関して代表世話人を補佐する
 - (3) 会計は本会の運営における財産の出納を管理する
 - (4) 監事は本会の財産および業務執行の状況を監査する
2. 世話人は総会の承認を得る。
3. 世話人会は互選により代表世話人、事務局長、事務次長、会計、監事を選出する。
4. 役員任期

役員の任期を3年とし、再選を妨げない。

第5章 会議

1. 世話人会

代表世話人は毎年1回以上、世話人会を開催し、議長として会を運営する。

2. 研究集会・講演会・講習会

研究集会、講演会または講習会を年1回程度開催する。

第6章 会費および会計

1. 会員は年会費を納入する義務を有する。

2. 本会の会計は、年会費ならびに事業に伴う収入をもって行う。

3. 会計は毎年1回総会の承認を得る。

4. 本会の会計年度は7月1日に始まり翌年6月30日をもって終わる。

第6章 慶弔

1. 慶弔の内、弔事のみに対応する。

2. 代表世話人が認めた会員に対して、弔電、弔花を贈る。

第7章 会則の変更

本会の会則は世話人会の承認を経て改定することができる。

付則

本会会則は2004年11月14日より発行する。

付則(一部改訂)

本会会則は2017年11月19日より発行する

付則(第7章 慶弔規約追加、会計年度修正)

本会会則は2021年2月10日より発行する。

会則施行細則

(会員)

研究集会・講演会等における展示の有資格者は賛助会員を優先するものとする。

(会費)

1. 年会費は正会員 2,000 円、施設会員 10,000 円、

賛助会員 20,000 円とする。

2. 日本褥瘡学会または日本褥瘡学会関東甲信越地方会の正会員は、年会費納入の義務を免除する。

長野県褥創懇話会世話人会名簿

代表世話人 **飯塚康彦**(飯塚医院院長 長野県医師会副会長)
事務局長 **久島英雄**(諏訪赤十字病院副院長)
副事務局長 **近藤龍雄**(飯田市立病院訪問看護ステーション理学療法士・
日本褥瘡学会認定師)
会計 **斎藤由香**(浅間南麓こもろ医療センター皮膚排泄ケア認定看護師)
監事 **林 宏一**(松本歯科大学皮膚科)
植木敬子(県立総合リハビリテーションセンター皮膚排泄ケア認定看護師)
議事録署名人 **福澤正男**(伊那中央病院皮膚科部長)

阿部直樹(飯田市立病院形成外科部長) **上原理恵**(佐久総合病院佐久医療センター形成外科) **大谷津恭之**(佐久総合病院形成外科) **鬼形 慶**(浅間南麓こもろ医療センター老人保健施設こまくさ作業療法士)・**上條みどり**(県立こども病院皮膚排泄ケア認定看護師) **桑澤 貴**(伊那中央病院作業療法士) **神津幸二**(篠ノ井総合病院皮膚排泄ケア認定看護師) **近藤恵子**(長野県看護大学皮膚排泄ケア認定看護師) **桜井 孝**(長野赤十字病院薬剤師) **澤柳 賢**(飯田市立病院皮膚排泄ケア認定看護師・特定看護師)
篠原 徹(佐久総合病院佐久医療センター薬剤師) **杉山 敦**(杉山外科医院院長)
須野原祐一(長野市民病院皮膚排泄ケア認定看護師・特定看護師)・**高橋信行**(安曇野形成皮ふクリニック院長) **田口優子**(飯田市立病院理学療法士・日本褥瘡学会認定師)
俵 伊吹(長野市民病院皮膚排泄ケア認定看護師) **土肥庄二郎**(どひ皮膚科クリニック院長) **仲澤幸恵**(県立木曾病院皮膚排泄ケア認定看護師) **中村令子**(北信総合病院皮膚排泄ケア認定看護師) **西澤智晴**(yui 訪問看護ステーション理学療法士) **野田知子**(諏訪赤十字病院皮膚排泄ケア認定看護師) **羽田仁美**(社会福祉法人暖家アムール皮膚排泄ケア認定看護師) **原 慎吾**(ながのホームコンサルティング皮膚排泄ケア認定看護師)
古田大樹(鹿教湯三才山リハビリテーションセンター豊殿診療所理学療法士) **洞 文香**(信州大学医学部附属病院皮膚排泄ケア認定看護師) **松本美和**(信州上田医療センター皮膚排泄ケア認定看護師) **三浦篤史**(佐久総合病院佐久医療センター薬剤師) **光樂文生**(諏訪中央病院皮膚科) **山口梨沙**(伊那中央病院創傷ケアセンター) **若林あずさ**(相澤病院皮膚排泄ケア認定看護師)

【令和4年10月現在 :敬称略 あいうえお順】

長野県褥瘡懇話会施設会員【アイウエオ順】

相澤病院 愛和病院 あかはね内科・神経内科医院(松本市) 浅間南麓こもろ医療センター
安曇野赤十字病院 安曇野形成皮ふクリニック(安曇野市) 安藤病院 飯田市立病院
飯田病院 飯綱病院 飯山赤十字病院 一之瀬脳神経外科病院 伊那神経科病院
伊那中央病院 稲荷山医療福祉センター 上田病院 岡谷市民病院
鹿教湯三才山病院リハビリテーションセンター 上伊那生協病院 上條記念病院
川西赤十字病院 桔梗ヶ原病院 輝山会記念病院 北野病院 倉田病院 健和会病院
国保依田窪病院 小島病院 小林脳神経外科病院(長野市) 小林脳神経外科病院(上田市)
佐久総合病院 佐久医療センター 佐藤病院(中野市) 塩尻病院 塩田病院
しおはら小児科皮膚科クリニック 下伊那厚生病院 下伊那赤十字病院 市立大町病院
城西病院 信州上田医療センター 信州大学医学部附属病院 杉山外科医院(松本市)
諏訪湖畔病院 諏訪赤十字病院 諏訪中央病院 瀬口脳神経外科病院 竹重病院
辰野総合病院 田中病院(伊那市) 千曲中央病院 轟病院 どひ皮膚科クリニック
豊科病院 長野市民病院 長野県立信州医療センター 長野赤十字病院 長野県立木曾病院
長野県立こども病院長野県総合リハビリテーションセンター 長野中央病院 中村病院(塩尻市)
富士見高原病院 藤森病院 北信総合病院 穂高病院 前沢病院 松本市立病院
まつもと医療センター中信松本病院 丸子中央病院 丸の内病院 ミサトピア小倉病院
南長野医療センター篠ノ井総合病院 南長野医療センター新町病院 村井病院
メンタルサポートそよかぜ病院 祐愛病院
ケアポート三輪 さわらび 白馬メディア ハーモニック東部 フラワーハイツ
別所温泉長寿泉 ラポート青木 yui 訪問看護ステーション

長野県褥瘡懇話会賛助会員【アイウエオ順】

アビリティーズ・ケアネット(株) アルケア(株) エア・ウォーター東日本(株) (株)加地 科研製薬(株) (株)
共和 クラシエ(株) ケーシーアイ(株) (株)ケーブ
コンバデック ジャパン(株) (株)伸和 スミス&ネフューウンドマネジメント(株)
(株)タイカ 中日本メディカルリンク(株) (株)ながのホームケアコンサルティング 日本臓器製薬(株)
ニュートリー(株) 白十字(株) パラマウントベッド(株)
メンリッケヘルスケア(株) (株)モルテン ユニ・チャーム(株) ユニ・チャームメンリッケ(株)

【令和4年10月末現在】